

頸動脈ステント留置術(CAS)後の長期成績に関する後方視的研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

本研究は、頸動脈ステント留置術(CAS)後の再狭窄の発生率や追加治療の必要性について評価するための研究です。

診療を通じて得られた検査結果(頸部エコーやMRIなど)を用いて、統一基準で再狭窄を評価し、ステントの種類や施行時期(緊急・待機)による影響も調査します。

本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

研究の対象となる方

2020年1月～2025年7月に当院でCASを受けられた方

使用する試料・情報

- ・年齢、性別、施行日、既往歴などの基本情報
- ・使用ステントや手技に関する情報
- ・頸部エコーやMRIでの再狭窄に関する情報
- ・追加治療(PTA等)の有無
- ・同側脳卒中の有無、フォローアップ状況

研究予定期間

2025年10月22日～2026年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 脳神経内科 長尾洋一郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 長尾洋一郎

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)